



きじカレーやきじ丼を食べる来場者

感謝の気持ちを込めて

◎道の駅森の三角ぼうし・年末謝恩祭

12月23日、道の駅・森の三角ぼうしにおいて、年末謝恩祭が行われました。

会場には、鬼北町特産のきじを使ったきじ丼、きじカレーやきじ汁などの他、かき揚げうどんや窯焼きピザなどの販売も行われ、冷たい風が吹く冬の寒い天気の中、温かい汁物が来場者たちの体を温めていました。

また、「きほくん」と「きじの助」の登場に訪れていた人たちの顔には笑顔が溢れ、子どもから大人までたくさんの人たちが、記念撮影をするなどゆるキャラとの触れ合いを楽しんでいました。



かどまつを設置する来夢のメンバー

恒例の巨大かどまつ、お目見え

◎愛治地区かどまつづくり

愛治活性化集団「来夢」と「母愛夢」による毎年恒例のかどまつづくりが12月23日、愛治公民館で行われました。

このかどまつづくりは、竹林から竹を切ってくる作業から始まり、その一つひとつが地元の人たちによる手作業。紅白の土台に囲まれた竹を松や南天などで飾ると、約5分にもおよぶ巨大なかどまつが完成しました。

大宿と清水の2箇所の道路沿いに設置されたこのかどまつは、「おかえりなさい」と書かれた看板とともに、年末年始に帰省してきた人たちを温かく迎えました。



ゲレンデで記念撮影

雪の中を滑る楽しさ体験

◎ひらめスキー教室

町内の小学校6年生を対象とした「ひらめスキー教室」は1月4、5日の両日、SOLF A小田スキーゲレンデで開催されました。

今年のスキー教室には、希望者18人が参加。上甲富男さんⅡ国遠Ⅱと愛治小学校教諭の下田新先生の指導のもと、児童たちはスキーのコツをつかもうと懸命に練習に励みました。

普段あまり体験できないスキーに、何度も転び悪戦苦闘する子もいましたが、参加者全員が雪の中の思い出づくりを満喫しました。



デコレーションに挑戦する児童たち

オリジナルのケーキづくりに挑戦

◎泉児童クラブケーキ作り体験

12月27日、泉児童クラブでケーキ作り体験が行われました。

児童一人ひとりにスポンジケーキと、いちごやチョコレートなどの材料が配られると、子どもたちは思い思いにデコレーションに挑戦。慣れない生クリームを絞る作業では、真剣な表情を浮かべながら、恐る恐る絞る手に力を加えていました。

それぞれに個性溢れるケーキが完成した後は、全員で試食。自分で作ったケーキに、子どもたちは満足そうな表情を浮かべながら、嬉しそうに頬張っていました。